

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

2014年中のアディマーク社により行われた調査によるとサンティアゴ市の体感危険指数は43.5パーセントであったが、これは調査を開始した2000年以降最高であった。また、2014年1月から11月までの昨年比は、ひたくり18.1パーセント、破壊窃盗（ATM機爆破等）16.7パーセント、殺人事件14.5パーセント増加している。刑事警察殺人課長が、麻薬組織の争いや銃の使用の増加などで計画的、残虐的犯行が増加していると述べるなど、凶悪犯罪が増加している。

先住民問題は、銃の発砲、放火や盗伐等過激さが増したことから、政府も警察官を増員するなど取締りを強化している。このような中第8、9州での警察との対立が激化している状況であり、殉職者も出ている。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 10月1日（水）午前11時頃、サンティアゴ市ビタクラ区の銀行に2人組の強盗が押し入り、現金10,000,000ペソを持ち去り逃走したが途中バイクを乗り捨てタクシーに乗り込んだところで逮捕された。

(2) 10月3日（金）早朝、サンティアゴ市ラス・コンデス区の銀行ATM機にガスを充填させ爆発させる事件が発生した。被害は無かったが、逃走時にマキビシを使用したため多くの車両が被害に遭った。

また同午前中、サンティアゴ市マイプ区の年金事務所への高額現金輸送車を3人組の強盗が襲撃したが、現場で警察と撃ち合いになり逮捕された。逮捕された一人は元マニユエルロドリゲス愛国戦線のメンバーであった。

(3) 10月27日（月）午前1時30分頃、サンティアゴ市サンベルナルド区において7人組の強盗が高額現金輸送車を襲撃し、警備員を殴って現金輸送車を奪って逃走した。被害額は、約530,000,000ペソであった。

また同午後12時15分頃、サンティアゴ市中心街において高額現金輸送車が襲撃され、総額2,400,000,000ペソ以上の現金が輸送車ごと奪われた。その際、犯人は現金輸送をしていた警備員にその家族の写真を見せ脅迫し、扉を開けさせた。

(4) 11月1日（土）午前9時頃、サンティアゴ市ペドロ・アギレ・セルダ区に所在のスーパーマーケットに7人組の強盗がハロウィーンの衣装で押し入り、客を銃で脅し床に伏せさせ、同店内に設置のATM機3台にガスを充填させ爆破し、うち一台から約50,000,000ペソを奪い逃走した。

(5) 12月6日（土）夜、サンティアゴ市ビタクラ区ビタクラ通りを歩行中の女性に男2名が近づきナイフで脅して携帯電話を奪い逃走した。ビタクラ区は高級住宅街であるが、昨年と比較して40パーセント強盗事件が増加している。

(6) 12月12日（金）23時頃、サンティアゴ郊外のチクレオ地区の裁判長の自宅に5人組の強盗が押し入り、銃で脅迫のうえ判決内容が入ったパソコン、現

金、貴金属類を奪い逃走した。

(7) 12月22日(月)午前1時30分頃、クウェート大使館書記官宅に6人組の強盗が押し入り、家族6人に銃を突きつけ、殴るなどし4時間にわたり拘束したうえ、自家用車を含む所有物を奪い逃走した。

(8) 12月24日(水)午前0時45分頃、レバノン大使公邸に拳銃及びナイフで武装した4人組の強盗が押し入り、同臨時代理大使を縛り上げたうえ、現金、貴金属類を奪い逃走した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 11月11日(火)未明、サンティアゴ市エスタシオン・セントラル区に所在する警察病院の柵内に消火器爆弾が設置されているのが発見され、特殊部隊により処理された。

(2) 11月24日(月)午後1時30分頃、サンティアゴ市プロビデンスシア区所在の刑事警察殺人課に火炎瓶が投擲され、警察官2名が負傷、車両も損害を受けた。

4 邦人被害

(1) 10月3日(金)午後10時頃、在留邦人女性が一人で、サンティアゴ市のコスタネラ通りを車で走行中、真ん中の車線で信号待ちをしていたところ、突然助手席側の窓ガラスを叩かれ、ひびが入った。サイドミラーで確認したところ、男が後ろ向きで立ち去るのが見えた。

(2) 10月5日(日)午後2時頃、在留邦人夫婦が朝外出し、夕方帰宅したところ、空き巣被害にあっていた。自宅は、集合住宅で、セキュリティーもしっかりしているが、防犯カメラを確認したところ、上記時間に、他の住人が入ったときに一緒に2人組の男が入ってきて、コンセルへの前を通過し、その20分後にその盗難品である、スーツケースとリュックサックをその2人組が持って出ていくのが撮影されていた。なお玄関の鍵は、こじ開けられてはいなかったので、合鍵を使用されたかピッキングされたと思慮される。

(3) 10月18日(土)午後6時頃、邦人家族がサンティアゴ市ウエチュラーバ区の幹線道路入口の側面道路を走行中、大きな木の枝が倒れていたことから徐行をした瞬間に、10代と思われる男2名が、鈍器で助手席窓ガラスを割り、助手席の足下に置いていた妻のハンドバッグを強奪し逃走した。

(4) 10月19日(日)午前10時頃、日本人男性旅行者がチリ北部カラマの宿泊予定のホテル付近でチェックイン時間まで時間調整中、背負っていたバックパックにヨーグルトを掛けられたため、バックパックを下ろして拭こうとしたところ、二人組に羽交い締めされ、ヘッドロックをかけられ意識を失った。気が付くと路上で大の字に倒れており、旅券、現金等貴重品全てを盗られていた。

(5) 10月29日(水)午前11頃、日本人女性旅行者がサンティアゴ地下鉄

1号線の車両内で立っていたところ、ハンドバッグを持っていた方に、前にリュックサックを掲げ、その上に長袖のシャツを掛けていた男が立っていた。2駅ほどその状態であったが、地下鉄を降りて気が付いたときにバッグに入れておいたパスポート、現金等在中の小バッグなくなっていた。

(6) 10月30日(木)午後1時30分から3時30分頃までの間、邦人男性が、語学学校から地下鉄で移動し、昼食をとり支払いをしようとしたところ、ボタン付き前ポケットに入れておいた財布がないことに気が付いた。語学学校を出るときは財布を確認していたので、地下鉄内でスリに遭ったと思われる。地下鉄内では、出入り口近くに立っていたため、乗降客とすれ違う場所であった。

(7) 11月7日(金)午後7時頃、在留邦人男性がサンティアゴ空港国際線ターミナル内のショップで店員の説明を聞きながら土産物を見ていたところ、後ろに置いておいたパソコン等在中のバッグを盗まれた。

(8) 11月7日(金)午後10時頃、南米各国を出張中の日本人女性が、同僚とレストランで食事中、足下に置いておいた現金、パスポート等在中のハンドバッグを盗まれた。

(9) 11月10日(月)午後5時頃、邦人男性が家族で買い物を終え、地下鉄2号線パトロナート駅からロス・エロエス駅までの車内において、2組の女性に話しかけられ、その間にズボンの後ろポケットに入れておいた現金、プリペイドカード在中の定期入れをすり盗られた。

(10) 11月15日(土)午前7時30分から7時50分の間、邦人男性が一人で旅行するため、サンティアゴ長距離バスターミナルでベンチにリュックを横に置いて座ってバスを待っていたところ、横に黒いリュックを背負った学生風の若者が座ってきた。それから知らない人が手招きしたり、お金が落ちていると話しかけられたり、違うバスの列に並ぶようにしつこく合図してきたので、立ち上がってその男に切符を見せて違うバスだと言ったとき、一瞬おかしいと思って振り返ると、自分のリュックが横に座っていた若者のリュックとすり替わっていた。

(11) 11月23日(日)午前5時頃、長期滞在していた日本人男性旅行者が、友人と飲酒后、ホテルに帰る途中、見知らぬチリ人男性からこれから家でパーティーをするから来ないかと誘われ、バスに乗ってついて行くと、そこでどこから来たのか尋ねられ、日本からだと答えると、では金を持っているなど言われ、頭に服をかぶせられ「ようこそ、チリへ」と言われながら殴られ、所持していた現金、カメラ等を奪われた。犯人達が財布に大金が入っていたことから歓声を上げて喜んでいる隙に走って逃げたが、追いかけてきたので近くのホテルに逃げ込んで助けを求めた。

(12) 11月28日(金)午後9時頃、日本人出張者がサンティアゴ空港で出国手続きまで時間があつたことから、空港内の飲食店にて、機内持ち込み荷物を足下に置いていたところ盗まれた。

(13) 11月29日(土)午前7時頃、日本人男性旅行者がサンティアゴからサン

ペドロデアタカマまでの長距離バスの車内において深夜就寝中、座席の下に入れておいた、パスポート等貴重品在中のカバンを盗難にあった。